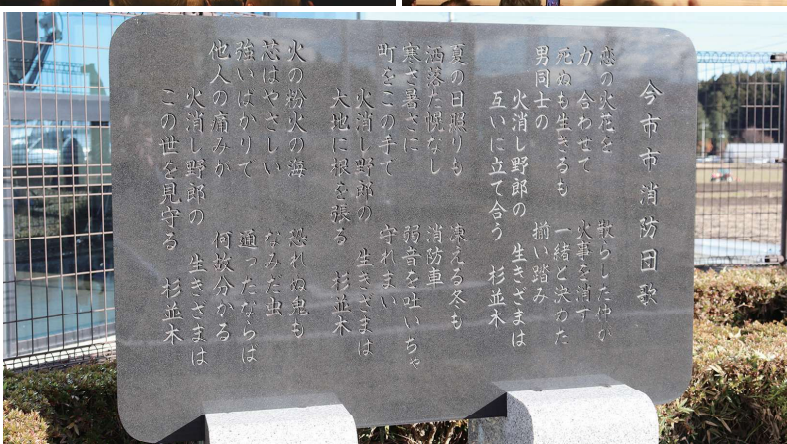


「ありがとう! 新日本消防会館完成記念大会」

令和6年10月3日に新日本消防会館の完成記念大会が開かれ、栃木県消防協会の要請で今市消防団員5名が団歌「人生杉並木」を披露しました。



今市消防団歌「人生杉並木」は団の団結力向上などの目的で作成され現在も歌い継がれている。今市消防署敷地内には歌詞を刻んだ石碑も設置されている。

第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会



令和6年9月19日、ライトキューブ宇都宮にて第29回全国女性消防団員活性化とちぎ大会が開催され、日光市から女性消防団員8名が参加し、それぞれの役割を見事にやり遂げました。



明峰高校 防災教育



令和6年4月30日、高等学校における消防団員が参画した防災教育を日光市で初めて日光明峰高校にて実施しました。当日、日光消防団団長をはじめ各分団から多くの団員が協力して資機材等の取扱い説明などを行いました。参加した生徒皆さんは真剣に聞き入っていました。



ひかりの郷にっこう出前講座

令和6年7月3日、今市小学校にて3年生を対象とした親子学習がひかりの郷にっこう出前講座として開催されました。当日、今市消防団第1分団の団員も協力し、放水・ホース伸ばしなど体験して頂きました。



ボランティアフェスタ

令和6年10月12日、ボランティア・市民フェスタ2024が今市文化会館前で開催され、今市消防団団長をはじめ9人の団本部の団員が参加しました。当日、たくさんの市民の方にご来場頂きました。



消防団との交流

落合地区にて今市消防団第2分団員とのふれあい交流を開催し、多くの地域住民の皆さんに消防活動を体験して頂きました。



通常点検を実施しました!

全団員が品位や規律を保持し、一人ひとりが「わがまち自分たちで守る」という強い信念と熱意を感じる訓練礼式と分列行進を披露しました。機械器具点検では、各車両の火災等に対する備えも万全でした。今年度からは、新たに作成した啓発用横断幕を全車両に掲示し、警戒活動やパレード等で火災予防等の周知に努めます。

今市消防団 (12月8日)



日光消防団 (12月1日)



藤原消防団 (11月24日)



栗山消防団 (11月3日)



機関員講習会

各消防団で機関員講習会を実施しました。消防職員からポンプの性能や操作方法の説明を受けた後、注意点などを確認しながら操作訓練を行いました。



(栗山消防団訓練の様子)

自主防災訓練

各地域にて自主防災訓練を行いました。地域住民の皆さんと一緒に放水訓練など行いました。



(猪倉地区自主防災訓練の様子)

旅館ホテル訓練

各消防団にて旅館ホテル等の火災発生に備え、迅速で適切な対応と関係機関との連携強化・初動体制の習熟等を目的として訓練を行いました。参加した団員は本番さながら真剣に活動を行いました。



(栗山消防団訓練の様子)

文化財防火デー訓練

この訓練は昭和30年1月26日に文化財防火デーとして定め毎年多くの団員が参加し、歴史と伝統のある貴重な文化遺産を火災などの災害から守ると共に、自衛消防隊、消防職員、団員の連携を強化することを目的としています。



日光市消防団協力事業所

日光市消防団活動に積極にご協力くださる事業所や団体に対して、日光市消防団協力事業所表示証を交付しております。その表示証を掲示することにより、市民に対して事業所等の紹介とともに、消防団活動への理解を深めていただき、地域の消防防災力の充実強化の一層の推進を図っています。

現在、18事業所に登録していただいています。



事業所名	所在地	事業所名	所在地
古河C&F株式会社	足尾町下間藤	株式会社 阿部工務店	湯西川
東武建設 株式会社	大桑町	柴田建設 有限会社	中小来川
株式会社 栗山山本建設	日向	有限会社 山加園	柄倉
徳力精工株式会社 栃木工場	沓掛	株式会社 太堀日光工場	塩野室町
古河電池株式会社 今市事業所	荊沢	有限会社 山久保建設	山久保
虎彦製菓 株式会社	鬼怒川温泉滝	有限会社 古木組	足尾町
株式会社 別倉製作所	清滝3丁目	株式会社 松本建設	小代
古河日光発電(株) 日光発電事務所	細尾町	株式会社 狐塚造園	山口
丸政建設 株式会社	西小来川	有限会社 狐塚建設	根室

消防団員募集!



共に日光市を守ろう!
入団希望者は、下記問い合わせ先へ!

入団資格

- ◆ 市内在住または勤務している方
- ◆ 18歳以上の方
- ◆ 心身ともに健康な方



消防団員の待遇や補償

- ◆ 新入団員は年53,000円の報酬の支給
- ◆ 各種災害、訓練等に出動した際には、出動手当の支給
- ◆ 一定期間以上勤務して退団した場合退職報奨金の支給
- ◆ 消防団活動に必要な被服、装備品の貸与
- ◆ 万が一災害、訓練等で負傷した場合の公務災害補償制度
- ◆ 日光市消防団サポート事業協力店による割引等サービスの享受

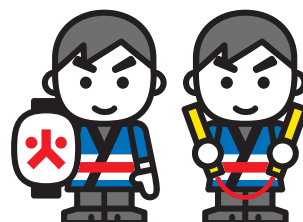
支援団員も募集しています!

- ◆ 消防団入団資格及び、消防団OBまたは消防吏員としての経験を有する方
- ◆ 所属する分団の管轄区域内に居住し、直ちに出勤できる方
- ◆ 年10,000円の報酬の支給のほか、消防団員と同様の待遇、補償制度
- ◆ その他詳しくは下記までお問い合わせ願います。

◆ お問い合わせ・申込書提出先 ◆

- ◆ 今市消防団担当
今市消防署庶務係 日光市豊田442番地1 ☎0288-21-0539
- ◆ 日光消防団担当
日光消防署庶務係 日光市石屋町408番地1 ☎0288-54-0050
- ◆ 藤原消防団・栗山消防団担当
藤原消防署庶務係 日光市鬼怒川温泉大原1419番地2 ☎0288-25-6002

日光市ホームページ
消防団ページ▼



[R7.1月発行]